

## DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた取組

鎌倉女子大学

鎌倉女子大学短期大学部

### (1) 取組内容

- ・対面授業とオンライン学習を併用するなど、DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた授業を実施する。
- ・DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた授業実践事例を全学的に共有し、効果的なICT教材・教育媒体の活用や自己学習に役立つ方法・資料の提示を促進する。
- ・これによりアクティブ・ラーニングの質向上や授業外での学修時間の増加を図り、学修者の成長実感や満足度の向上につなげる。
- ・取組の実施状況について検証するとともに、学内への展開について「FD委員会」において検討する。

### (2) 指標設定

- ・アウトプットに関する指標

指標	目標値
授業実践事例を共有するセミナー等の開催回数	DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた授業実践事例を共有するセミナー等の開催回数を年1回以上とする。
アクティブ・ラーニング型授業の実施回数	全開講科目のシラバスのうち、アクティブ・ラーニングを行うことを明示している授業科目の割合を70%以上とする。

- ・アウトカムに関する指標

指標	目標値
教材・教育媒体の効果的な活用状況や自己学習に役立つ方法・資料の提示に対する評価の向上	「授業改善アンケート」における「教材や教育媒体の効果的な活用状況」や「自己学習に役立つ方法・資料の提示」の評価が平均4.0点以上（5段階評価）
アクティブ・ラーニング型授業の参加割合の増加	「学修環境・行動調査」における「授業内のディスカッションへの参加状況」の肯定的回答（よく行った・ある程度行った）が90%以上。
授業外での学修時間の増加	「学修環境・行動調査」における「予習・復習・課題など授業に関する学習時間（1週間当たり）」の「0時間」の回答が5.0%以下。
入学後の知識・能力の向上	「学修環境・行動調査」における「将来の職業に関連する知識や技能の入学後の変化」の肯定的回答（大きく伸びた・伸びた）が90%以上。
学生の教育内容やカリキュラム等の満足度の向上	「学修環境・行動調査」における「教育内容やカリキュラム等の満足度」の肯定的回答（とても満足・満足）が70%以上。

### (3) 取組及び指標についての評価体制

- ・本取組内容及び指標の妥当性（進捗を含む）について評価する体制は、「ICTを利活用した教育（教育DX）の推進ワーキンググループ」とする。
- ・「ICTを利活用した教育（教育DX）の推進ワーキンググループ」は、副学長、教務部長、FD委員長、FD室長及び学事調査研究センター長、並びに学外の学識経験者及び産業界等に属する者をもって構成する。